

経皮内視鏡的胃瘻造設術 手術同意書

診療科

担当医師

看護師

患者氏名

手術予定日 平成 年 月 日

1、胃瘻の概説、胃瘻の必要性、胃瘻の利点の説明、胃瘻手術予定様式について別冊子にて説明

2、手術に伴う合併症 術後の合併症について

術後1ヶ月以内の死亡率は1割、1年以内の死亡率は4割という報告があります。

- ① 患者は高齢で心臓・肺・肝臓・腎臓など多くの内臓の働きが弱っています。また、栄養状態が悪かったり、肺炎・褥瘡などの感染症を合併していたり、全身状態の悪い方が多いです。したがって、手術中や術後に急性心筋梗塞・不整脈などによる突然の心臓停止・呼吸停止、咽頭けいれん、脳梗塞の発症、そのほか予想もつかない急変が起こることがあります。また術後に、肺炎や、胃潰瘍、肝機能障害、腎機能障害、その他合併症が発症することがあります。
- ② 手術により、出血することがあります。
- ③ 麻酔薬やその他の薬剤による副作用が出ることがあります。
- ④ 腹壁と胃壁の間に他の臓器（大腸、肝臓、小腸など）が入り込み誤ってそれらをはさみこんで縫い合わせたり、穿刺することがあります。また、胃に穴が開いたり、胃以外の他の臓器を刺してしまうこともあります。
- ⑤ 手術部位の細菌感染を起こすことがあります。
- ⑥ 胃瘻周囲の皮膚の発赤、炎症は度々見られますが多くの軟膏などで改善します。
- ⑦ 嘔吐、胃食道逆流、誤嚥や下痢、食欲不振がみられることがあります。また、胃瘻を造っても肺炎や褥瘡などがなくなるわけではありません。

3、胃瘻を造設しなかった場合

今まで通りの栄養を続けることも出来ます。経鼻胃管や、末梢静脈からの点滴、中心静脈からの点滴など

4、手術同意後の撤回について

手術に同意した後でも、手術前ならいつでも同意の撤回が出来ます。

5、他の医師や医療機関に相談して意見を聞くことも出来ます。（「セカンドオピニオン」といいます）

私は上記内容の説明を受け、手術の必要性、合併症の可能性、手術を受けなかった場合について十分に理解した上で手術を受けることに同意します。または、家族が手術を受けることに同意します。

出水総合医療センター院長 殿

平成 年 月 日 患者氏名

家族氏名

印

患者本人との続き柄

印